～裁判員経験者の声をお届けします～

裁判員を経験された方と法曹三者との意見交換会を実施しました。
いただいたご意見・ご感想の一部をご紹介します。

（参加者：裁判員経験者３名　裁判官１名　検察官１名　弁護士１名）
令和６年２月９日開催　熊本地方裁判所

裁判員に選ばれるまではいかがでしたか？

候補者選任通知があった段階で、事前に勤務先に報告しました。
会社の理解があったおかげで、特段差支えはありませんでした。

選任手続では、当たるかどうか緊張しましたが、せっかくの機会だから、ぜひやってみたいと思っていました。
抽選など選任手続に要した時間については、長くは感じませんでした。

法廷での審理はいかがでしたか？

初心者にもわかりやすいよう、いろんな工夫がされていました。
モニターでパワーポイントの資料や証拠を示しながら説明があり、分かりやすかったです。

被告人が犯行に至った経緯や家庭環境などの背景事情について、もっと掘り下げてもらえるとよかったと思います。また、手続と手続との間に、もう少し評議や説明の時間があると、より充実した審理になったと思います。

評議*はいかがでしたか？
*裁判員と裁判官が話し合って判決の内容を決める手続

だれにでもわかるよう、とても丁寧な説明がありました。「なんでも遠慮なくいってほしい」と、意見を言いやすい雰囲気を作ってくれたので、とても話しやすかったです。ドラマでのイメージよりも和やかに評議が進んでいきました。

緊張もありましたが、裁判長がリーダーシップをとってくれて、裁判員も意見を出し合うことができました。

これから裁判員になられる方へメッセージをお願いします！

裁判員の経験を振り返ってみて、わからないことはわからないと、もっとたくさん質問すればよかったなと思います。法廷に入るのもかなり緊張しますが、緊張を楽しんで、リラックスして臨んでほしいです。評議では、周りに流されず、自分の意見を主張した方が良いと思います。

自分の気持ちに正直に、見るもの、聞いたものをすべて素直に受け取めてほしいです。法曹三者から詳しい説明があるので、そこまで身構える必要はありませんよ。最後までサポートがあるので安心して参加してほしいと思います。

裁判員を経験して、裁判をとても身近に感じるようになりました。裁判員としての経験は今後においても役に立つと思います。

ご参加いただいた裁判員経験者の皆様、ありがとうございました。
皆様のご意見を踏まえて、より分かりやすい裁判、より参加しやすい裁判を目指してまいります。
引き続き、裁判員制度へのご理解とご協力をお願いいたします。